



2学期が始まりました

長い休みが終わりました。今年も暑い夏でした。「熱中症で救急搬送」というニュースや「川で事故」というニュース等を目にし、「小俣小の子は大丈夫かな!？」と心配することも多かったです。夏休みの最後に台風もきました。大きな地震もあり、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」も出され、大変心配なこともありました。

新学期にはなりましたが、まだまだ暑い日が続き、熱中症が心配です。また、学校生活のペースがつかめない子もいるかもしれません。早く慣れるよう、生活リズムを戻してほしいものです。2学期もよろしくお願いします。

本校校舎のトイレ改修について

本校の校舎は建設してから、かなり年数が経過し、老朽化しています。伊勢市や伊勢市教委もそのことについて配慮をしてくださり、これまで補修や改善をしていただけてきましたが、トイレは特に老朽化し、大きな課題となっておりました。そのトイレを、今年度と来年度で大規模改修をしていただきます。大きな工事ですので、一度にすることはできず、今年度は、校舎1～3階東トイレ、来年度は同じく西トイレを改修します。

夏休み初めから暑い中、工事を続けていただいておりますが、大きな工事ですので、夏休み中だけでは終わらず、9/20まで工事が続きます。その関係で、9/20までは全校児童が西トイレを使うことになります。校舎東側の子どもたちにとっては、トイレが遠くなりますし、またトイレの数も半分になるので子どもたちには何かと不便をかけることになります。保護者の皆様にもご心配をおかけし、申し訳なく思っています。休み時間に混み合っただけでトイレに行けなかった時には遠慮なく担任に伝えるようクラスでも声掛けをします。また状況を見ながら、子どもたちが困ることのないよう対応していこうと職員と話し合っています。何かご心配なことがありましたら、ご連絡ください。

全国学力・学習状況調査の結果より

6年生が4月に全国学力・学習状況調査を行いました。その目的は、児童の学力や学習状況を把握、分析し、成果と課題を検証して改善を図ることにあります。今回、調査を行った国語・算数それぞれで、課題が見えてきました。全国や三重県の結果との比較をしな

がら、結果の概要をお知らせします。

※調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることや数値はあくまで平均値であることをご理解の上ご覧ください。

学力調査より

算数・国語のいずれも平均正答率において全国や三重県の結果を上回りました。また両教科ともに、全国や三重県と比べ無解答が少なく、子どもたちが粘り強く問題に取り組んだことがわかります。

算数は、全体的によくできていたのですが、課題もありました。左の問題で、1人に7kgずつ配っていたものを、0.7kgずつにすると、たくさんの人に配ることができることはわかるのですが、下の枠のように数式を出され、商と言われると分からなくなってしまう児童が一定数いました。

また、右の問題は、家から学校ま

での1200m（同じ距離）をかなたさんは20分間、ほのかさんは24分間で移動します。当然、同じ距離を短い時間で移動できるかなたさんの方が歩くのが速くなります。しかし、そのことをうまく言葉や数字を使って説明できない児童が多く、全国同様、課題と言えます。

国語では、「きょうぎ」（競技）を漢字で書く問題については、全問題中一番できておらず、課題が見られました。全国的に課題とされている記述式の問題（自分の考えが伝わるように書き方を工夫して書く問題や人物像や物語の全体像を具体的に想像したり表現の効果を考えたりすることができるかどうかを見る問題）を本校児童はよくできており、強みと言えます。（本校児童は、国語の勉強は好きですかという問いについては、肯定的な回答は、全国や三重県に比べ、20%程度も低い割合です。社会に出た時に役立つと考え、授業はよくわかるとも回答しているにも関わらず、低いということは今後の課題として検討していきます。）

児童質問紙調査より

児童質問紙調査は、児童の学習に対する関心・意欲や生活習慣、学習習慣、自尊感情、規範意識等を問うものです。

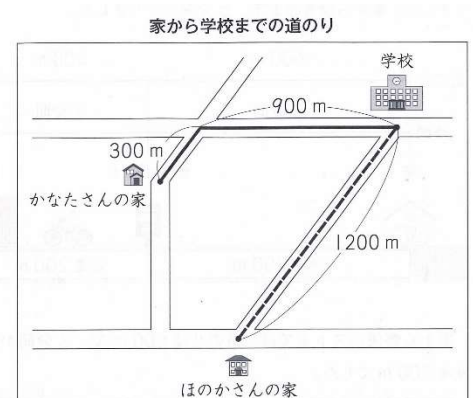
350 kgの米を1人に7 kgずつ配ると、50人に配ることができます。

1人に0.7 kgずつ配るとき、配ることができる人数は、

50人より 1 多い 2 少ない です。

$350 \div 7 = 50$ です。

$350 \div 0.7$ の商は、50より 3 大きい 4 小さい です。



よく自尊感情の高さと学力向上は相関関係があると言われます。自尊感情は自分に対する肯定的な態度ですが、例えば、「自分にはよいところがあると思いますか」という問いについては、若干全国や三重県の平均を上回っておりました。周りに認められてこそ自尊感情は高まりますが、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」と



いう設問についても若干上回っていました。「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか」は全国に比べ6%近く高い94%ほどが肯定的な回答をしています。また、「普段の生活の中で幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という問いに対しては、5%以上上回っており、自尊感情においてよい傾向を示していました。

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問において約98%の児童が、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答しており、本校児童がいじめを許さない姿勢を持っていることが分かります。

一方で気になる回答もあります。例えば、「携帯電話、スマホ、PCの使い方について家の人と約束したことを守っていますか」という問いに関しては、「守っている・だいたい守っている」という割合は、全国と比較し10%以上低い状況で気になるところです。スマホなどでの平日の1時間以上のSNSや動画視聴は全国や三重県に比べ少ない傾向にあります。ゲームについては、2時間以上する児童も、3時間以上する児童も、全国や三重県と比較したときに多い傾向にあり、気になるところです。これは、本校6年生だけではなく、他の学年もそうだと考えられます。また、現代の大きな課題です。6年生のご家庭だけでなく、全てのご家庭で、ゲームやテレビ・動画視聴の時間などについて今一度見直し、ルール等の相談をお願いいたします。

学習時間については、平日の家庭学習の時間は1時間以上する児童は約55%で全国とほぼ同じですが、これが休日となると、1時間以上学習する児童は27%程度と半分になってしまい、またこの結果は

全国より20%以上低い状況となります。また、「分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え工夫することはできていますか」に

ついては、全国や三重県より低い傾向にあります。時間をかけないと定着しない学習もありますので、さらに、児童の学習の質を上げることができるよう、自分の状況や目的に合った時間で、学習を進められるよう働きかけをしていく必要があると考えています。



結果を受けて、全職員で本校の強みや課題を分析しました。それを受けて、さらに本校児童の力を伸ばすべく、本校全職員で2学期も取り組みを進めます。2学期も本校の教育活動にご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。